

日本機械輸出組合は、わが国主要プラント・エンジニアリング輸出企業に対し、海外成約アンケート調査を実施し、この度本調査の概要を取りまとめましたので公表致します。

2013年度海外プラント・エンジニアリング(PE)成約実績調査

～中東、中国向けが大きく落ち込み、昨年度実績に届かず。海外調達比率は過去最高。～

1. 2013 年度海外PE成約実績概況について

(1) 全体的概況(図 1、表 1 参照)

- ① 2013 年度の海外成約総額は、222.3 億ドル(対前年度比▲11.2%)となり、過去 6 番目の成約実績となった。
- ② 本邦からの輸出額は、2006年度以降では最も低い実績(93.7 億ドル、対前年度比▲27.5%)となった。一方、海外調達比率は 57.8%に達し、過去最高であった。
- ③ 成約件数は、639 件(対前年度比 0.2%増)であった。

(2) 地域別概況(図 2、表 2 参照)

- ① 成約額上位3地域は、アジア(122.6 億ドル、対前年度比▲20.8%)、西欧(36.8 億ドル、同 105.4%増)、北米(19.7 億ドル、同 105.8%増)となり、西欧は過去最高の実績となった。
- ② アジア地域では、中国が 6.6 億ドル(前年度比▲38.5%)と大きく落ち込み、他方 ASEAN 五カ国向け実績は 45.7 億ドル(同 61.4%増)と大きく伸び過去 2 番目の実績であった。
- ③ また、大洋州は前年度比▲64.7%と、昨年度に引き続き大きく落ち込み、0.1 億ドルの低水準となった。

(3) 機種別概況(図 3、表 3 参照)

- ① 機種別では、発電プラント、化学プラントは対前年度比で成約実績が増加し、生活関連・環境プラント、情報・通信プラント、交通インフラ、エネルギープラント、鉄鋼プラント、一般プラントは減少した。
- ② 成約額上位 3 機種は、発電プラント (78.1 億ドル、対前年度比 55.1%増)、エネルギープラント (51.6 億ドル、同▲46.6%)、化学プラント (47.0 億ドル、同 203.7%増) となった。
- ③ 化学プラントは成約実績を大幅に伸ばし 2006 年度以降で最も高い実績となった。前年度は減少していた発電プラントも実績を伸ばした。他方、生活関連・環境プラントは 2006 年度以降でもっとも高い実績となった昨年から前年度比 84.6%減と大幅に減少した。エネルギープラントも前年度比 46.6%減となった。

2. 海外競合国との比較

(1) 全体的概況 (図 4-1 参照)

2013 年度のわが国 PE 成約実績は 222.3 億ドルで、前年比で 11.2%の減少であったが、海外競合国である韓国と米国も前年実績を下回った。韓国の実績は、637 億ドルで、前年の 648 億ドルからわずかに実績を落とし、米国は 531.6 億ドルで前年比 34%減となっており下落幅が大きい。他方、中国の 2013 年の実績は 1,716.3 億ドルで、2012 年比で 9.6%増となっている。中国以外の競合国の輸出実績は 2010 年以降横ばいか下落傾向にあり、中国の伸長が際立っている。

(2) 機種別概況 (図 4-2、図 4-3 参照)

わが国の電力プラント成約実績は、前年比で 55.1%増と大幅に増加しているが、韓国の電力プラントの成約実績は 175 億ドルで 2012 年の 193.7 億ドルから 9.6%の減少となっている。2011 年の実績は 189 億ドルであり、大型案件があった 2010 年以降は、200 億ドルに届かないラインで推移している。

他方、エネルギー・化学プラントについては、わが国は前年比で 11.8%減であった。韓国の実績は 235 億ドルで、前年比で 27.7%増加している。

(参 考)

(1) 大型案件の状況 (表 4 参照)

① 2013 年度の大型案件は 34 件、178.8 億ドルとなった。13 年度は上期 17 件、下期 17 件となり、通期の件数では 2006 年以降では、過去 3 番目に低い件数となった。

② 大型案件の成約総額に占める割合は、近年 6 割台の後半で推移していたが、2009 年度および 2010 年度は約 75%を占めるに至った。さらに、2011 年度の大型案件の占める割合は 80.2%と初めて 8 割を上回り、その後 8 割を超える水準を維持しており、2012 年度が 82.5%、2013 年度は 80.4%であった。大型案件の成約実績に与える重要性は依然として高い状況にある。

(2) 成約実績上位10カ国

① 成約上位 3 カ国は、トルコ、台湾、アメリカ合衆国である。

② 過去3年間、連続して上位10カ国に入っている国は、台湾のみである。

③ 上位10カ国の実績が、全成約額に占める割合は 75.2%に上っているが、その割合は年々減少している。

以上

(図 表 編)

1. 成約実績全体の推移

図1. PE 成約実績(全体)の推移

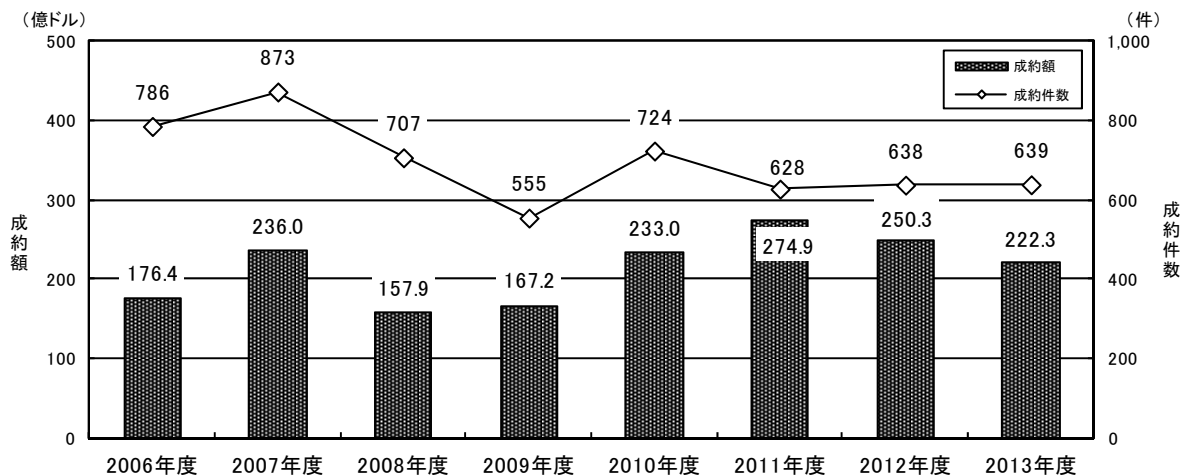


表1. PE 成約実績 (全体) の推移

	件数(件)		成約額(億ドル)		海外調達状況		
		対前年度比(%)		対前年度比(%)	本邦輸出額(億ドル)	海外調達額(億ドル)	海外調達比率(%)
2006年度	786	15.4%	176.4	▲ 31.1%	124.2	52.2	29.6%
2007年度	873	11.1%	236.0	33.7%	143.7	92.3	39.1%
2008年度	707	▲ 19.0%	157.9	▲ 33.1%	108.9	49.0	31.0%
2009年度	555	▲ 21.5%	167.2	5.9%	99.5	67.7	40.5%
2010年度	724	30.5%	233.0	39.4%	129.5	103.5	44.4%
2011年度	628	▲ 13.3%	274.9	18.0%	144.7	130.2	47.4%
2012年度	638	1.6%	250.3	▲ 8.9%	129.3	121.1	48.4%
2013年度	639	0.2%	222.3	▲ 11.2%	93.7	128.6	57.8%

(注1) 上表の数値については、2008年度上期調査から実施された調査対象金額の変更に合わせて成約額100万ドル以上の案件を対象に再集計し、また、2008年度上期の実績に関して訂正があったものについては、当該訂正に合わせて2008年度の数値を再集計している。従って、本表の数値と過去の報告書の掲載結果とは一致しない。

(注2) 成約額、本邦輸出分、海外調達分との関係は次の通りである。成約額 = 本邦輸出額 + 海外調達額

(注3) 四捨五入の関係で合計が合わない箇所がある。

2. 地域別実績の推移

図 2. 地域別実績の推移

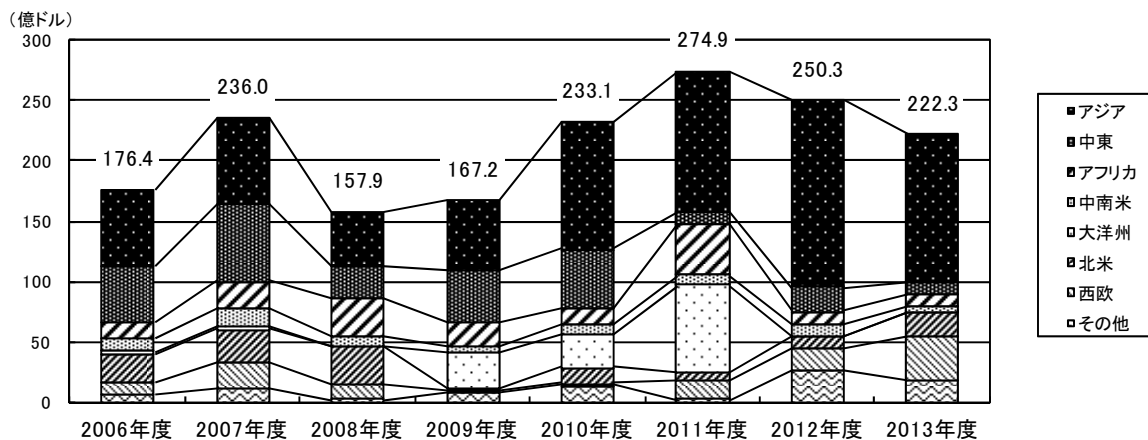


表 2. 地域別実績の推移

		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
全体		176.4 (▲31.1%)	236 (33.8%)	157.9 (▲33.1%)	167.2 (5.9%)	233.0 (39.4%)	274.9 (18.0%)	250.3 (▲8.9%)	222.3 (▲11.2%)
地域別	アジア	63.0 (▲19.8%)	70.7 (12.2%)	45.4 (▲35.8%)	57.1 (25.8%)	106.1 (85.8%)	116.4 (9.7%)	154.8 (33.0%)	122.6 (▲20.8%)
	中華人民共和 国	12.4 (1.6%)	10.5 (▲15.3%)	13.3 (26.7%)	9.4 (▲29.3%)	14.9 (58.5%)	12.1 (▲18.8%)	10.8 (▲11.1%)	6.6 (▲38.5%)
	ASEAN5	18.4 (▲37.0%)	21.6 (17.4%)	17.0 (▲21.3%)	23.9 (40.6%)	43.3 (81.2%)	47.5 (9.7%)	28.3 (▲40.4%)	45.7 (61.4%)
	中東	46.6 (▲65.1%)	65.3 (40.1%)	26.4 (▲59.6%)	44.0 (66.7%)	49.5 (12.5%)	10.5 (▲78.8%)	20.3 (93.8%)	10.2 (▲50.0%)
	アフリカ	14.4 (227.3%)	21.5 (49.3%)	31.1 (44.7%)	19.5 (▲37.3%)	12.9 (▲33.8%)	42.6 (230.2%)	11.0 (▲74.2%)	9.8 (▲11.1%)
	中南米	10.2 (▲1.0%)	15.1 (48.0%)	9.0 (▲40.4%)	4.7 (▲47.8%)	7.9 (68.1%)	7.8 (▲0.9%)	9.3 (18.8%)	4.5 (▲51.6%)
	大洋州	2.6 (▲40.9%)	2.9 (11.5%)	0.4 (▲86.2%)	29.7 (7,325.0%)	27.8 (▲6.4%)	73.6 (164.6%)	0.3 (▲99.6%)	0.1 (▲64.7%)
	北米	22.8 (221.1%)	27.5 (20.6%)	31.2 (13.5%)	2.3 (▲92.6%)	13.3 (478.3%)	5.5 (▲58.3%)	9.6 (73.2%)	19.7 (105.8%)
	西欧	11.1 (▲23.4%)	21.6 (94.6%)	11.7 (▲45.8%)	1.6 (▲86.3%)	1.8 (12.5%)	16.1 (795.6%)	17.9 (11.2%)	36.8 (105.4%)
	その他	5.7 (78.1%)	11.4 (100.0%)	2.8 (▲75.4%)	8.3 (196.4%)	13.8 (66.3%)	2.4 (▲82.8%)	27.1 (1,043.4%)	18.6 (▲31.3%)

(注) 単位: 億ドル

(注) 各地域の上段目の値は前年度比(%)

(注) ASEAN5: インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア

3. 機種別実績の推移

図3. 機種別実績の推移

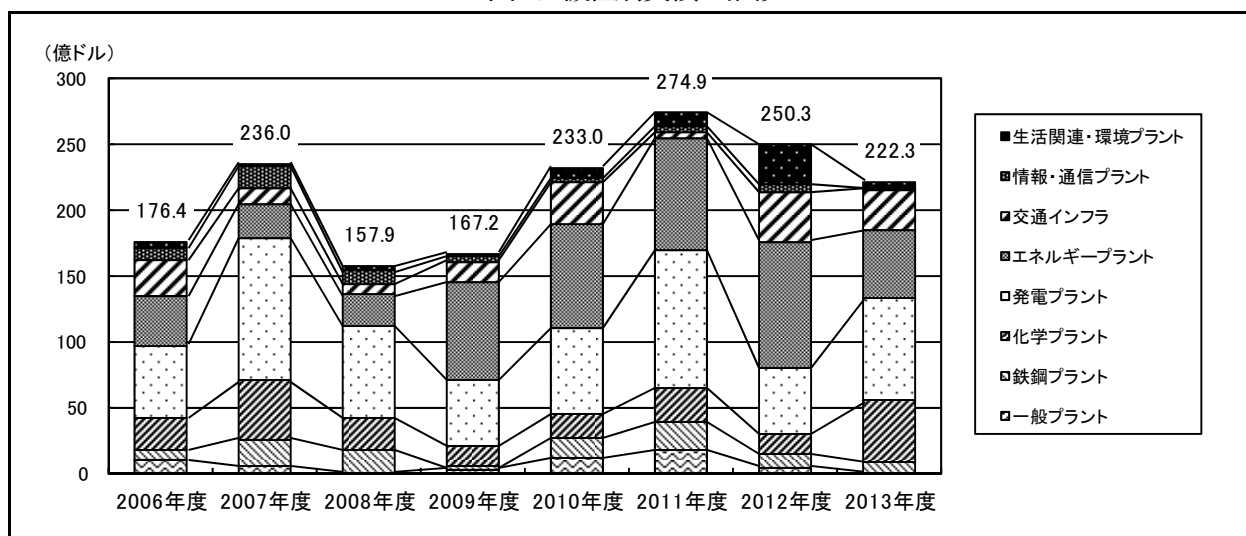


表3. 機種別実績の推移

単位: 億ドル

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
全体	176.4 (▲31.1%)	236.0 (33.7%)	157.9 (▲33.1%)	167.2 (5.9%)	233.0 (539.3%)	274.9 (518.0%)	250.3 (▲8.9%)	222.3 (▲11.2%)
生活関連・環境プラント	5.5 (▲9.4%)	2.0 (▲63.0%)	3.3 (62.5%)	1.7 (▲49.9%)	8.3 (395.8%)	10.1 (22.3%)	30.3 (200.3%)	4.7 (▲84.6%)
情報・通信プラント	8.9 (38.1%)	17.0 (92.1%)	10.5 (▲38.1%)	4.7 (▲55.2%)	3.3 (▲30.2%)	5.3 (59.8%)	6.6 (25.7%)	1.9 (▲71.0%)
交通インフラ	26.7 (▲50.2%)	12.2 (▲54.2%)	8.1 (▲33.6%)	15.6 (91.9%)	32.3 (107.0%)	4.5 (▲86.1%)	36.8 (719.9%)	30.7 (▲16.6%)
エネルギープラント	38.0 (▲62.0%)	25.3 (▲33.5%)	23.6 (▲6.6%)	74.0 (213.6%)	78.8 (6.4%)	85.8 (8.8%)	96.2 (12.1%)	51.6 (▲46.6%)
発電プラント	55.2 (5.7%)	108.6 (96.9%)	70.0 (▲35.6%)	49.5 (▲29.2%)	64.3 (29.8%)	103.5 (61.0%)	50.3 (▲51.3%)	78.1 (55.1%)
化学プラント	23.9 (▲8.2%)	44.4 (85.8%)	24.7 (▲44.4%)	16.2 (▲34.5%)	19.2 (18.8%)	26.2 (36.4%)	15.5 (▲40.9%)	47.0 (203.7%)
鉄鋼プラント	8.4 (12.9%)	20.6 (145.3%)	15.6 (▲24.4%)	2.7 (▲82.6%)	15.1 (454.8%)	21.6 (43.6%)	10.1 (▲53.5%)	6.5 (▲35.2%)
一般プラント	9.9 (146.2%)	5.8 (▲41.4%)	2.1 (▲64.4%)	2.8 (37.3%)	11.8 (318.5%)	18.0 (52.3%)	4.5 (▲74.8%)	1.8 (▲59.5%)

(注) 2段目の値は前年度比伸び率

(参考 1) 大型案件(1億ドル超案件)の状況

表4 大型案件の状況

	2012年度	2013年度
① 数	42件(6.3%減)	34件(19.0%減)
全件数に占めるシェア	6.6%	5.3%
②金額	206.6億ドル(25.8%増)	178.8億ドル(13.5%減)
総額に占めるシェア	82.5%	80.4%

(注)超大型案件:10億ドル超の成約案件, 大型案件:1~10億ドルの成約案件

(参考 2) 成約実績上位10カ国

表5. 成約実績上位10カ国の推移

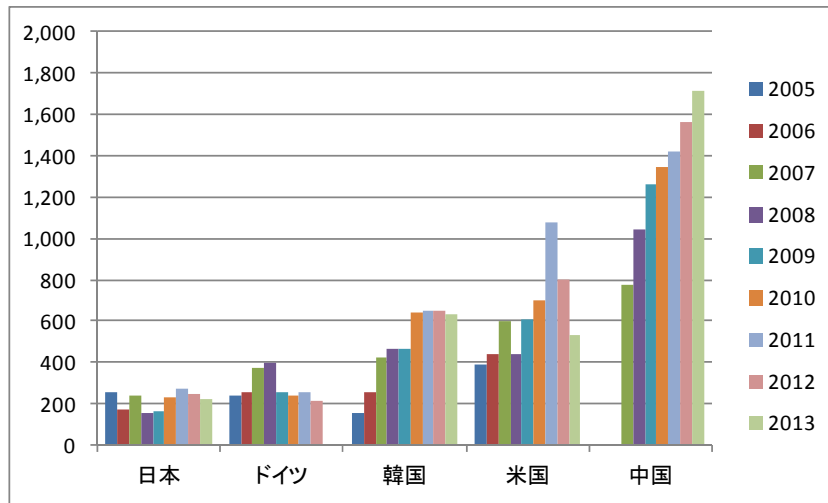
単位:億ドル

	2011年度			2012年度			2013年度		
	国名	成約額	割合	国名	成約額	割合	国名	成約額	割合
1	オーストラリア	73.1	26.6%	ベトナム	67.8	27.1%	トルコ	34.9	15.7%
2	台湾	24.6	9.0%	パキスタン	26.2	10.5%	台湾	25.6	11.5%
3	エジプト	24.3	8.8%	カザフスタン	16.8	6.7%	アメリカ合衆国	19.3	8.7%
4	大韓民国	22.7	8.3%	サウジアラビア	15.1	6.0%	ベトナム	17.9	8.1%
5	タイ	17.6	6.4%	英国	14.1	5.6%	マレーシア	17.5	7.9%
6	トルコ	12.9	4.7%	インドネシア	13.2	5.3%	インド	14.4	6.5%
7	マレーシア	12.5	4.6%	中華人民共和国	10.8	4.3%	トルクメニスタン	10.4	4.7%
8	中華人民共和国	12.1	4.4%	エジプト	9.3	3.7%	タイ	10.0	4.5%
9	インドネシア	9.2	3.3%	アメリカ合衆国	8.9	3.6%	シンガポール	9.5	4.3%
10	アンゴラ	9.1	3.3%	台湾	8.8	3.5%	ロシア	7.6	3.4%
	上位10カ国計	218.2	79.4%	上位10カ国計	191.0	76.3%	上位10カ国計	167.1	75.2%

4. 海外主要国とのPE輸出競争状況

図4-1 主要国の海外PE受注実績（2005～2013年）

単位：億ドル



米国：ENR Top 400 Contractors の International New Contract のデータ（注）土木・建設が多い。機種別詳細は不明。

ドイツ：VDMA プラント・エンジニアリング統計、海外受注より

07年：Euro=1.4\$ 08年：Euro=1.5\$ 09年：Euro=1.4\$ 10年：Euro=1.37\$ |11年：Euro=1.39\$ |12年：Euro=1.28\$ で計算

韓国：知識經濟部、海外プラント受注統計より

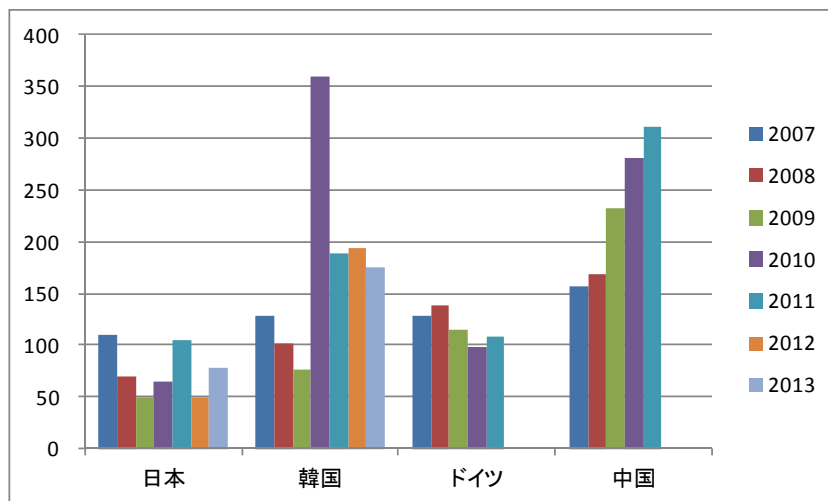
中国：商務部、対外承包工程統計、新規受注高より（注）土木・建設が比較的多い

日本：海外プラント・エンジニアリング成約実績（注）日本のみ年度ベース

（注）韓国統計には掘削リグ船、FPSOなどの海洋部門を含む。中国統計には海外建設・建築も含む。

図4-2 主要国の電カプラント輸出推移

単位：億ドル

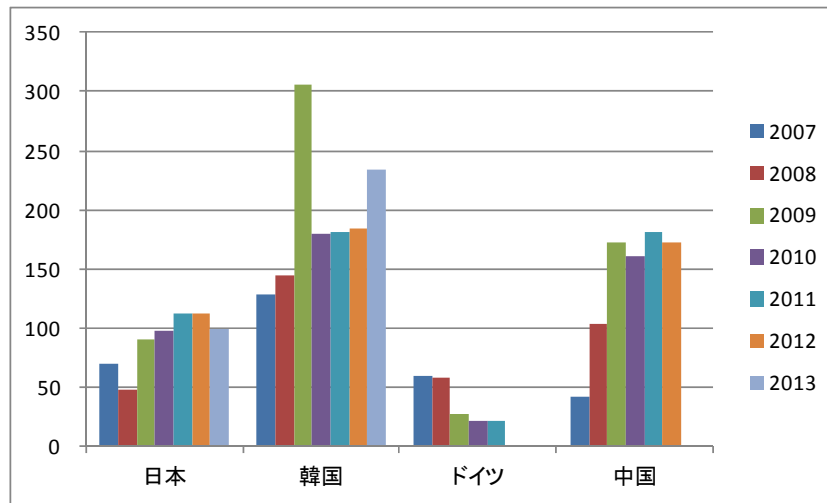


出所：同上

注：日本—発電プラント、ドイツ—電カプラント、韓国—発電・淡水プラント、中国—電カプラント

図4-3. 主要国のエネルギー・化学プラント輸出推移

単位：億ドル



出所：同上

注：日本－エネルギープラントと化学プラントの合計

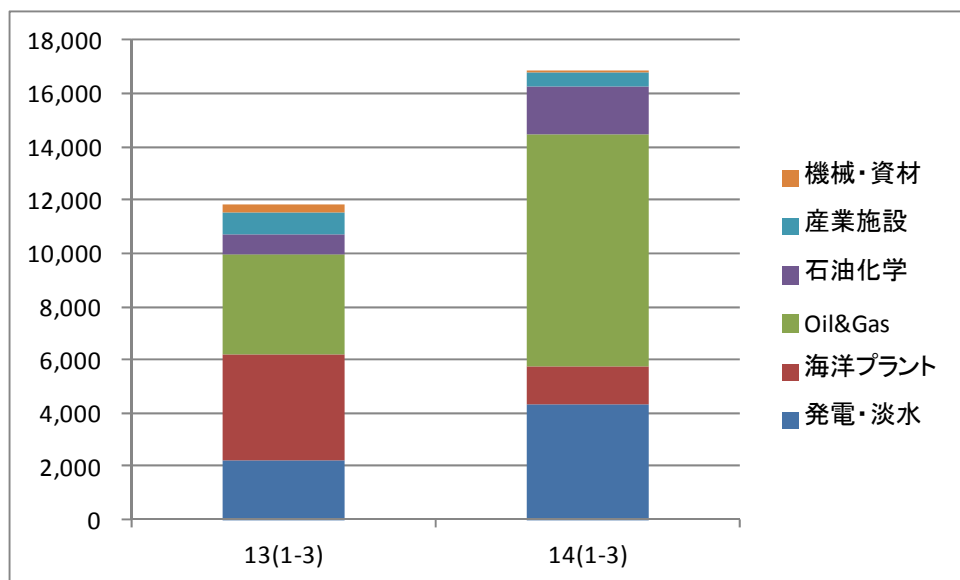
ドイツ－ 化学プラントおよび空気・ガス液化設備の合計

韓国：石油化学プラントおよびオイル&ガスプラントの合計

中国：石油化学プラント

5. 韓国の2014年第一四半期 PE 海外受注実績（参考）

- ①2014年第一四半期の韓国のPE海外受注実績は、168.09億ドルを記録した。2013年第一四半期の118.28億ドルと比較すると42.1%の増加である。
- ②韓国産業通商資源部は、海外建設・プラント受注先進化対策に基づき、金融支援や新興市場進出支援、大企業と中小企業の同伴進出の強化といった支援策を政府が実施したことが受注拡大に貢献したと分析している。今後も産業通商資源部は、展示会・博覧会参加支援や有望プロジェクト発掘のための発注先招請、新興国でのFS(実現可能性)調査、受注支援センターを通じた受注支援、人材育成といった多様な支援策を通じて初の受注実績700億ドル達成を後押しする方針である。
- ③大型プロジェクトの受注が少なかったアジアとヨーロッパはそれぞれ対前年比で64.3%減、98.1%減となった。他方で、イラクのカルバラ製油所(60.4億ドル)を受注した中東地域とアルジェリアで複合火力発電所を受注したアフリカ地域での実績が大幅に伸び、両地域で全受注額の8割超を占めている。機種別では、発電、石油・ガス、石油化学が前年比で大幅に増加しており、全受注額の9割弱を占める。産業通商資源部は世界経済の回復やエネルギー需要増加に伴う新興市場の成長により、海外プラント受注は好調に推移するとの見通しを立てている。



韓国産業通商資源部、海外プラント受注統計より。 単位:100万ドル

なお、中国商務部によると、2014年1月から4月までの中国のPE海外受注実績は、437.8億ドルで前年比10.2%減となっている。

以上